

第 49 回栃木県オリエントセミナーの開催案内

栃木県オリエント協会
栃木県文化協会

今年も5月に、日本オリエント学会、栃木県文化協会、下野新聞社、栃木県立博物館、栃木県オリエント協会など5団体共催による「第49回栃木県オリエントセミナー」を開催します。

今年のセミナー第1講は、日本オリエント学会常務理事で、東京大学東洋文化研究所教授の森本一夫先生に、「イスラームにおける人物像の神話化:伝説になった神の獅子、アリー」と題し、お話しいただきます。預言者ムハンマドの父方のいとこ、「育ての子」にして娘婿。草創期のムスリム共同体でのアリーの実際のキャリアは、この華々しい出自に反して決して順風満帆なものとはならなかった。しかし彼は死後に見事に巻き返す。後世のさまざまな語りのなかで「伝説」と化した「神の獅子」の姿を通じて、イスラーム教の宗派的・歴史的多様性や歴史観などをお話しいただきます。第2講は、日本オリエント学会会員、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授の黒木英充先生に、「パレスチナ問題の起源—さらなるジェノサイドを防ぐための視点」と題し、今、国連の在り方までが問われている「中近東ガザ地区でのパレスチナ人とユダヤ人との対立」を古代から紐解いて、すなわち文明の成立までさかのぼり、一方では、現代の対立や紛争までの動きなどを紹介していただきます。ご期待ください。

会員の皆様はもちろん、高校生・大学生・一般の方々にもご来場いただき「歴史は同じことを、なぜ繰り返すのか」「歴史から何を学ぶか」など、オリエント史を学びながら、激動する日本はもちろん、ますます目の離せなくなっている「オリエント諸国」ですが、ぜひ見る目を広めていただければ幸いです。

No.	期 日	演 題		講 師
第一講	5月18日(土) 14:00~16:00	「イスラームにおける人物像の神話化：伝説になった神の獅子、アリー」		日本オリエント学会常務理事、 東京大学東洋文化研究所教授 森本 一夫 先生
第二講	5月25日(土) 14:00~16:00	「パレスチナ問題の起源—さらなるジェノサイドを防ぐための視点」		日本オリエント学会会員、東京 外国語大学アジア・アフリカ言 語文化研究所教授 黒木 英充 先生

◎会 場／栃木県立博物館講堂 宇都宮市睦町 2-2(栃木県中央公園内)

◎受 講 料／一般 5,000 円、栃木県オリエント協会員・栃木県文化協会員 2,000 円、学生 1,000 円

◎主 催／日本オリエント学会、栃木県文化協会、下野新聞社、栃木県立博物館、栃木県オリエント協会

◎後 援／栃木県教育委員会、宇都宮市教育委員会、栃木放送

◎募集人員／定員 50 名(定員になりしだい締め切ります)。

◎申込要領／各協会へ電話、FAX 等で住所、氏名、電話番号を連絡し申し込んで下さい。受講料はセミナー当日、会場受付でお支払下さい。お問合せと申し込みは、月曜～金曜(祭日除く)の午前 9 時から午後 5 時までをお願いします。

◎申込み先／栃木県オリエント協会 〒321-0974 宇都宮市竹林町 321-35 菅家 繁 方

TEL028(622)2684(FAX 兼)番

栃木県文化協会 〒320-8530 宇都宮市本町 1-8 栃木県総合文化センター内

TEL028(643)5288 FAX028(643)5296

* お車でご来館する方は、県博北駐車場は台数に限りがありますが利用できます。